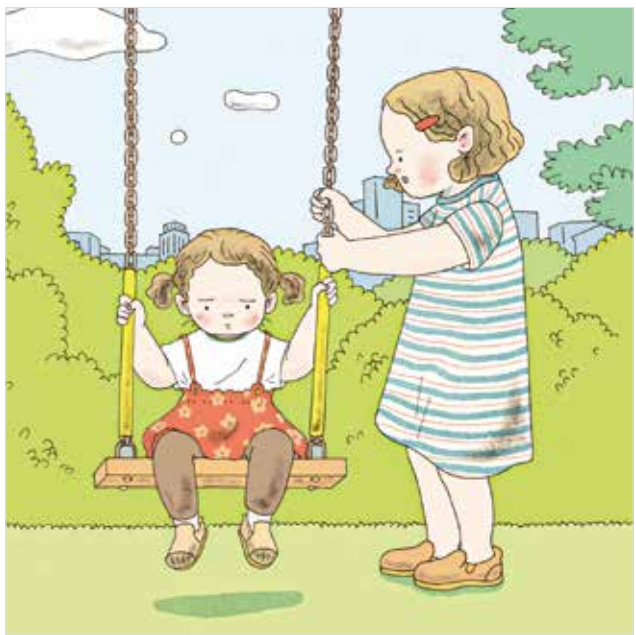


# 夏ちゃん

おほら悦子

六歳の春ちゃんには、三歳の妹、夏ちゃんがいます。

夏ちゃんは、こわがりです。雷やおばけがこわいのは、春ちゃんも一緒ですが、夏ちゃんは雷やおばけもびつ



くと、手足をバタバタさせてまた大声で泣くのです。

そんな夏ちゃんなのに、大人は夏ちゃんを見ると「かわいいわね」とニコニコ顔で言います。春ちゃんは「しっかりとおねえちゃんね」とほめられるけど、「かわい」とは言われません。いつもわがままで泣いてばかりなのに、夏ちゃんはずい、と春ちゃんは思います。

春ちゃんは、本当は優しいおにいちちゃんがほしかったのです。おにいちちゃんなら、きつと泣かないし、わがまも言わないと思うから。野球とかサッカーをやっている、かっこいいおにいちちゃんがいいな。そう思って、クリスマスの前に「おにいちちゃんがほしいです」とサンタさんに手紙を書きました。でも、パパとママから「サンタさんでも、それは無理だよ」と言われてしまいました。

ある日、夏ちゃんは親せきのおばさんから「夏ちゃんのお洋服、かわいいわね」と言われました。

「これ、おねえちゃんが着ていた服なの」と夏ちゃんが得意そうに話しているのが春ちゃんにも聞こえました。春ちゃんが着られなくなったお洋服を、夏ちゃんはいっもうれしそうに着ています。「あら〜。夏ちゃんはおねえちゃんが好きなね」と、おばさんが言うのと、夏ちゃん

りするような大きな声で「こわーい、こわーい」とさわぎます。

夏ちゃんはブランコもこわがります。ブランコにのつたまま、動きません。「ブランコはこぐんだよ」と春ちゃんが揺らすと、大さわぎ。すべり台は、階段の途中で「こわーい」と止まってしまおうので、一度もすべったことがありません。

それに、夏ちゃんは泣き虫です。「お腹すいた〜」と言って泣くし、「アイスクリームをそんなに食べちゃダメ」とママに怒られて泣くし。熱を出してお医者さんに行ったときも、「おうちアーンして」って言われただけで大泣きして、お医者さんの顔をキックしちゃいました。

夏ちゃんはわがままです。動物園はクサイから嫌い。遊園地はうるさいから嫌い。プールはお顔に水がかかるから嫌い。春ちゃんは動物園も遊園地もプールも大好きなのに、夏ちゃんのせいであまり連れて行ってもらえません。

春ちゃんがお友だちと遊んでいると、夏ちゃんは必ず「夏ちゃんも入れて〜」と入ってきます。お友だちがちよつとイヤそうな顔をするから、「夏ちゃんはダメ。あっち行って」と春ちゃんと言うと、「一緒に遊びたい

んは「うん！夏ちゃんはおねえちゃんがだ〜い好きなの！」と大きな声でこたえました。

春ちゃんは少しドキドキしました。ニコニコしている夏ちゃんを見て、ちよつとだけ「かわいい」と思いました。そして、おにいちちゃんじゃなくて妹でもいいかな、と思つたのでした。  
(おしまい)

